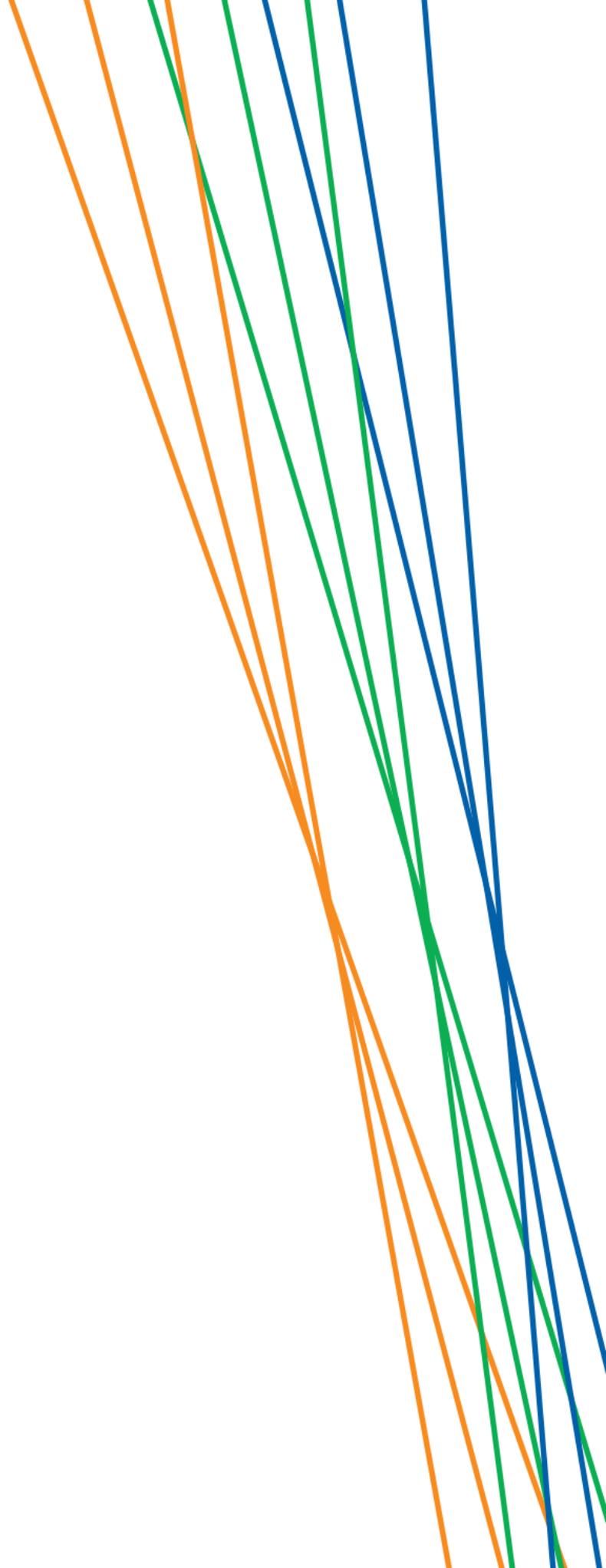


modulat

モジュール株式会社

ENTERPRISE SUMMARY 2012.4.1 - 2013.3.31



モジュール株式会社は、2000年4月にPC/PCサーバーに特化した企業の情報システム部門のアウトソーシングを主要務として発足いたしました。以来、常に「お客様にとって何が最適か?」を自問自答し、妥協のないサービスを提供し続けることで、高い信頼とご評価を頂いております。当社の強みは、特定のメーカーや製品に縛られず常にお客様に最適なサービスやシステムをご提供可能な「中立性」、それらをお客様のご要望に応じてフレキシブルにご提供できる「オーダーメイド型サービス」、その為に情報システム部門が抱える業務のアウトソースに特化した「利用技術の専門性」、そして「お客様との継続的な関係性」です。私達はこれからもお客様と共に成長していく為に、このスタンスを守り続け、そして磨き続けてまいります。

さて、当社の2013年3月期ですが、混迷が続く経済環境の中、「本業である継続ITサービスへの集中」「契約の長期化・大型化」に社員一丸となり取り組んだ結果、増収増益（売上総利益・経常利益・当期純利益は過去最高）及び復配計画を達成する事が出来ました。また、発表済みの中期経営計画の通り「スマートフォン」「セキュリティー」「ソフトウェア」の新サービスの立ち上げを行い、新しい大手クライアント企業様数社とのお取引も開始され、今後の事業基盤を強化する事が出来ました。経営体制については上場企業の社会的な責任の全うに努め、内部管理体制等に問題があると認められないとの取引所の判断を受ける事が出来ました。

2014年3月期は、今後数年間の成長の為に「現在の堅実な事業基盤の更なる強化」「新サービスの拡大」「より働きやすい環境構築」「増収増益」「過去最高の利益と共に更なる増配」などについて、役職員一同で堅実な挑戦を続け、継続的な事業の成長、企業価値の向上を目指してまいりますので、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



2013年6月

取締役会長

松村 明



■ 貸借対照表 (要旨)

(単位: 千円)

科 目	第13期 (2012年3月31日現在)	第14期 (2013年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	452,366	531,380
固定資産	789,592	733,218
資産合計	1,241,958	1,264,599
負債の部		
流動負債	716,711	727,355
固定負債	238,713	159,779
負債合計	955,424	887,134
純資産の部		
純資産合計	286,533	377,464
負債純資産合計	1,241,958	1,264,599

貸借対照表 POINT

- ・流動資産及び流動負債：現預金及び棚卸資産の増加等により、流動資産が増加。
- ・固定資産及び固定負債：貸付金の回収、減価償却及び借入金の減少により、固定資産及び固定負債が減少。
- ・純資産：前期株主総会の承認により、資本準備金の減少及び欠損填補を行い、繰越損失を解消。当期純利益の計上によって利益剰余金が増加し、純資産が増加。

■ 損益計算書 (要旨)

(単位: 千円)

科 目	第13期 (2012年4月1日～ 2012年3月31日)	第14期 (2013年4月1日～ 2013年3月31日)
売上高	1,511,242	1,793,640
営業損益	85,839	104,492
経常損益	88,173	187,597
当期純損益	72,998	88,743

損益計算書 POINT

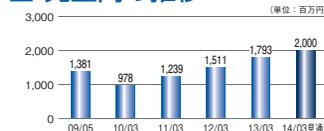
本業である「継続ITサービス」の売上は、計画を上回って順調に推移、「一時的ITサービス」の売上も、ソフトウェア開発案件の増加等により順調に推移しました。商品売上も、厳しい事業環境が続いているものの、比較的順調に推移しました。その結果、経常利益・当期純利益については過去最高の業績となりました。

■ キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

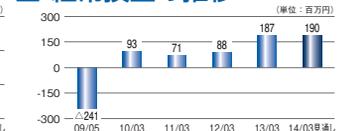
(単位: 千円)

科 目	第13期 (2012年4月1日～ 2012年3月31日)	第14期 (2013年4月1日～ 2013年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	158,593	114,634
投資活動によるキャッシュ・フロー	△88,648	56,877
財務活動によるキャッシュ・フロー	△39,098	△88,798
現金及び現金同等物の期末残高	80,687	163,400

■ 売上高の推移



■ 経常損益の推移



■ 2014年3月期通期業績予想

売上高	2,000百万円
営業損益	140百万円
経常損益	190百万円
当期純損益	100百万円
1株あたり当期純損益	72.99円

2013年3月期の総括

期首予想を超え、新規投資も行いつつ、利益計上体質を更に強化

- ・上期は不透明感があったものの、堅実に実績を積み重ね、3期連続の増収増益。
- ・3月の上方修正も超え、売上総利益、経常利益、純利益は過去最高額を計上。
- ・新サービス構築の初期費用を投資しつつ、利益を確保。

ITサービス特化を継続し契約拡大、新たな大手クライアント様も獲得

- ・今期もITサービスは前期比16.7%増と順調。過去最高の12億円超。
- ・商品売上も回復傾向にあり、前期比23.0%増を計上。
- ・新しい大手クライアント様とのお取引開始。事業基盤の強化に寄与。

上場企業の責務を全う、復配

- ・ガバナンス強化を達成し、3月に特注指定が解除。新管理体制の評価を得る。
- ・社員数10%増加、オフィスを移転、働きやすい仕組みの模索を始める。
- ・純資産30%増加、営業C/Fも3期連続プラス。数年来の懸案であった復配を達成。

2014年3月期の見通し

堅実な成長を堅持しつつ、新サービスも収益の柱へ

- ・4期連続の増収増益を目指し、今後の数年間の規模の発展の礎にする。
- ・既存ビジネスを堅持しつつ、新サービスが収益貢献へ。
- ・売上20億円、純損益1億円へ（人件費の適正化を推進）。

新ビジネス「スマートデバイス」、「ソフトウェア関連」、「ITセキュリティ」

- ・継続ITサービスは長期化、安定化、大型化を加速。自動化ソフト内製で効率化へ。
- ・新サービスでは、ソフト、ツール×2は更に拡大、自社開発製品もリリースへ。
- ・非対面営業を指向する営業展開も開始。初のPR活動も開始計画。

現場回帰の加速、官僚主義的な制度を打破、ベンチャーらしさを再強化

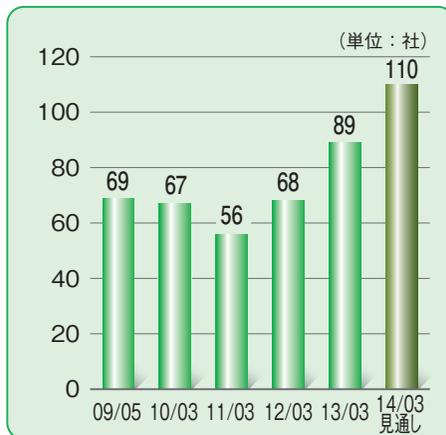
- ・強化された経営管理体制を継続しつつ、ベンチャーらしさやスピード感を再強化。
- ・自由な労務環境構築をさらに加速させ、付加価値的側面からも企業価値向上を。
- ・経営基盤と財務の強化を継続。増配も目指す。



年間継続契約額



顧客数



1株当たり純資産額および1株当たり当期純損益



2013年4月1日付で1株につき100株の株式分割をしております。上記では、当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の数値を表記しております。

ビッグデータ対応分析ソフト ADVIZOR (アドバイザー)

今、巷で話題の“ビッグデータ”に対応したデータ分析ソフトです。ライバル製品よりも遥かに早く、遥かに安く、直観的なデータ分析作業を行う事が出来ます。米国製のソフトを当社で日本語化して、今年度は日本での総代理店として本格的に展開してまいります。オンメモリという最新技術も採用されており、世界で信頼あるガートナーレポートでも高い評価を受けている製品です。

IBM製オフコン延命ソフト X-Analysis (エックス・アナリシス)

古くからある良いコンピューターは、まだまだ現役ですが、そのシステム開発者や運用担当者は年々減っていきます。そんなIBM製オフィスコンピューター（約数万台の国内稼働実績）の“設計書の無いシステム”や“熟知している技術者不在のシステム”を、自動で分析して最新のシステム仕様書を作成するソフトウェアです。英国製のソフトをメーカーと共同で日本語化して、今年度は日本での総代理店として本格的に展開を進めています。尚、最新型サーバーへ半自動で移行するソフトも順次リリースする予定です。

働く人のリスク診断ソフト HELRisk (ヘルリスク)

多様化した社会構造の中、働く人の心の安定は企業にとって避けては通れない課題です。日本で3000社以上の導入実績を誇る適性診断ソフト「CUBIC」の開発元であるAGP社と当社の共同開発で、働く人の潜在的リスクを数値化する診断ソフトを開発しました。インターネットを通じて直ぐに結果の出るサービスとして、企業様の採用などを御支援していく計画です。

パソコンを人手によらず動かす自動化ソフト Auto-PC (オートPC/仮称)

企業内でパソコンはなくてはならないものになりました。タブレットなどの台頭もありますが、まだまだ資料作成や分析作業ではパソコンが必要で棲み分けされていく、正に現代の算盤です。しかし、そのパソコンで“繰り返し作業”や“単純作業”がどんなに多く行われている事でしょう。当社が自社の為に開発したこのソフトウェアは、パソコンが自動でこれらの作業を行います。そうです！初期設定を除けば、毎日の単純作業はアイコンをクリックするだけで1秒で終わります。今、外販の準備を進めており、企業のデスクワークの効率化に大きく寄与する計画です。

ソフトやサービスに関するお問い合わせは、以下のメールアドレスもしくはホームページからご連絡下さい。

sales@modulat.com

● 会社概要 (2013年3月31日現在)

会社名 モジュール株式会社
所在地 〒108-0014 東京都港区芝五丁目25番11号
TEL：03-3454-2061
FAX：03-3454-2062
設立 1999年9月
資本金 254百万円
従業員数 62名

● 役員 (2013年6月24日現在)

取締役会長	松村 明	取締役	内田 倫子
代表取締役	木原 礼子	取締役	岩城 哲哉
取締役	藤井 隆徳	常勤監査役	山田 義範
取締役	渡辺 博文	監査役	河邊 正義
取締役	西尾 いづみ	監査役	近 正暁
取締役	川合 拓		

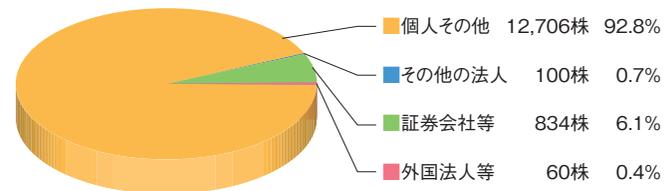
● 株式の状況 (2013年3月31日現在)

発行可能株式数 20,000株
発行済株式の総数 13,700株
株主数 844名

※2013年4月1日付で1株につき100株の株式分割をしております。

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
松村 明	4,533	33.1
清水 博行	684	4.9
高松 忠行	655	4.8
木原 和彦	650	4.7
菅原 敏彦	650	4.7
大阪証券金融株式会社	626	4.6
佐伯 達之	600	4.4
飯塚 麻実	511	3.7
渡部 真理	480	3.5
岩本 葉子	193	1.4

所有者別株式分布状況



事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
	※そのほか必要のあるときは、あらかじめ公告して定めた日

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社に口座のご利用がない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人 および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所 (郵便物送付先)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-782-031
(インターネットホームページURL)	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告の方法	当社のホームページに掲載する http://www.modulat.com
上場証券取引所	大阪証券取引所 JASDAQ市場

株主の皆さまの声をお聞かせください

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。



<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード **3043**

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjfm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

- アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から
抽選で薄謝(図書カード500円)
を進呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2mediaについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

- アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30)
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com

モジュール株式会社

〒108-0014 東京都港区芝5-25-11 ヒューリック三田ビル2F